

株式会社ズーム  
2021年3月30日

## 2020年12月期 株主総会 質疑応答の要旨

**Q1：星野楽器（株）との販売代理店契約の終了及び新型コロナウイルス感染拡大防止のためのロックダウンにより Mogar 社の売上が減少したが、それぞれの影響の割合について教えてほしい。**

A1：回答者：代表取締役 CEO 飯島雅宏

昨年3月から夏頃までロックダウンにより Mogar 社の売上が減少したが、その後のロックダウン解除及びステイホーム需要の増加に伴い、その影響はほぼ相殺されている。従って、Mogar 社の売上減少の主な要因は、星野楽器（株）との販売代理店契約の終了である。

**Q2：招集通知の 18 ページの対処すべき課題において電子部品の代替部品の切替えについて言及しているが、昨年10月の旭化成エレクトロニクス（株）の工場火災に加えて直近でもルネサスエレクトロニクス（株）で工場火災が発生しているため、生産・販売の現在の対応状況について教えてほしい。**

A2：回答者：代表取締役 CEO 飯島雅宏

旭化成エレクトロニクス（株）の工場火災については、代替部品による設計変更が順調に進んでおり、影響は限定的である。また、ルネサスエレクトロニクス（株）の工場火災については、具体的な数値を確認中であるが、影響を受けるズーム製品は限られており同様に影響は限定的と考えられる。当社は、このようなリスクへの対処方針を第3次中期経営計画においてリスクマネジメントとして言及しており、具体的には、基幹部品について特定メーカーへの依存度を 1/3 以下にすること、影響を限定的かつ想定範囲内にする方針を定めている。

**Q3：第3次中期経営計画における利益配分の定義として、投機目的ではない中・長期保有株主を優遇する制度を導入すると言及されているが、具体的な対応について教えてほしい。**

A3：回答者：代表取締役CEO 飯島雅宏

具体的な対応は検討中であるが、3年後を目途に投機目的ではない中・長期保有株主を優遇する措置を導入していきたい。

Q4：旭化成エレクトロニクス（株）の工場火災の影響については、代替部品への切り替え対応を進めているとのことだが、その対応によるズーム製品価値に与える影響について教えてほしい。

A4：回答者1：代表取締役CEO 飯島雅宏

代替部品への切り替えによる主な影響として、ズーム製品の消費電力が若干大きくなることわかっているが、実用上大きな影響とはならない。また、代替部品に切り替えたズーム製品が市場に流通される段階で、新旧部品の性能に関する比較表を公表する予定である。

回答者2：執行役員 CPDO 河野達哉

代替部品については、性能及び原価の条件を満たすものを採用しており、ズーム製品の性能の変化について公表するための資料の準備を進めている。